

「江戸川区熟年しあわせ計画及び第9期介護保険事業（案）」の 意見募集結果について

「江戸川区熟年しあわせ計画及び第9期介護保険事業(案)」に関する意見募集手続きは、令和6年2月9日から3月9日までの期間で行いました。その際、5名より計6件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見及び区の考え方は、以下の通りです。

1 意見募集手続きの概要

(1) 意見募集期間

令和6年2月9日から3月9日までの間

(2) 周知方法

ア 区公式ホームページに掲載

イ 令和6年2月15日号の「広報えどがわ」に掲載

※福祉部福祉推進課、介護保険課窓口に閲覧用の印刷物を設置

(3) 意見の提出方法

ア 区公式ホームページ

イ 持込み又は郵送

(4) 提出先

福祉部福祉推進課計画係

2 意見募集の結果

	頂いたご意見	区の考え方
1	素晴らしいと思います。	ご賛同いただきありがとうございます。
2	ドラマなどでよく見かけるような、高齢者の健康器具がそれぞれの公園に設置されていればよいと思います。	ご意見をいただきありがとうございます。 本区では多くの公園を整備しており、季節の草花や子ども向けの遊具、運動広場はもとより、水遊びやキッチンカー、動物とのふれあいやバーベキューが楽しめる公園など、様々な特徴のある公園を備えています。その中で、高齢者向けの健康

		器具としては、健康自転車、背のばしベンチ、ぶらさがり、ツイストボードなど設置した公園も設けており、地域の高齢者の方にご利用いただいています。
3	<p>計画書（案）17ページの「15の日常生活圏域と特性」について、文字が多く各圏域の場所を示す点線も入り組んでおり、見にくく感じます。</p> <p>表のつくりも複雑なので、もう少しシンプルなお内容にしてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>ご指摘を踏まえ、全体的に見やすくなるよう修正しました。</p>
4	<p>計画書（案）16・17ページの「15の日常生活圏域と特性」によれば、葛西南部圏域が区内で最も高齢化率の高い地域となっています。区は、この要因をどのように分析していますか。</p>	<p>葛西南部圏域は、昭和63年に葛西沖開発土地地区画整理事業が完了し、多くの集合住宅が建設された地域です。その頃に移住した方々が多く住んでいるため、近年、この地域の高齢化率が高まっているものと考えています。</p>
5	<p>区内の福祉避難所は、絶対数が不足していると言われていています。災害はいつ起こるか分かりません。避難所の整備はどのように進んでいるのでしょうか。災害に対する計画を入れてほしいと思います。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>福祉避難所につきましては、本計画の53ページに記載しているとおおり、協定による福祉避難所を確保しておりますが、まだまだ不足している状況であり、現在、公共施設や民間施設なども含め、要配慮者の避難施設・避難スペースの確保に向けて検討しております。</p> <p>また、本計画の90ページに記載しているとおおり、今後も関係団体や地域の力をお借りしながら、支援の手をさらに拡大し、重層的な避難支援体制を構築してまいります。</p>
6	<p>第3部の第1章に関して、複合的な課題を抱え支援が行き渡らない方への対策として、多機関協働による包括的な支援体制や「重層的支援体制整備事業」のイメージが示されています。しかし、複合的な課題の中に「ヤングケアラー」の文言が入っていません。高齢者を介護する家族が</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、地域との関係の希薄化や家庭環境の多様化などにより、支援が必要な「ヤングケアラー」の存在は重要な課題と捉えています。</p> <p>課題が複合化・複雑化したケースは、ヤン</p>

<p>共働きであった場合は、子どもに介護の負担がかかることは必須です。この計画には「ヤングケアラー」の文言を入れるべきではないでしょうか。</p>	<p>グケアラーのみならず、8050 世帯やひきこもりの方がいる世帯、ゴミ屋敷となっている世帯など、多岐に渡ります。本計画では、これら一つひとつを言語化するのではなく、全てを含めて「制度のはざま」と表現しています。</p>
---	---